

山口市議会報告

地域政党
やまぐちの風

Yamaguchi City Council Report

vol.31

発行責任者
山口市議会議員 竹中一郎

山口市市民会館は 市民に愛されてきた 文化の殿堂！



令和7年 第4回山口市議会定例会 **質問と答弁**

山口市市民会館について

▶質問

山口市市民会館は市民の文化の殿堂であるが老朽化が著しい。今後の市民会館のあり方とそれに向けた対応を伺う。

▶答弁

市民会館は開館から50年以上が経過しており、安全安心な施設運営の確保とともに、今後施設に求められる機能を検討するため、アンケート調査などを実施している。本年6月には商工会議所がやまぐち魅力向上プランを策定され、市民会館の整備の検討のほか、亀山周辺エリア全体における周遊性や機能性、移設による複数施設の集約、複合化などについて提言されたことから、市では、本年11月に県に対して、パークロード一帯に集積する県の文化教育施設について市の施設等との連携強化が図られるよう、意見交換や情報共有の場の設置を要望した。市民会館は長く市民に愛されてきた大切な文化活動の拠点であり、亀山周辺、パークロード一帯の都市機能としても重要な施設であることから、当面の間は適切な営繕対応を行うとともに、今後の市民会館のあり方について、市民や関係者のご意見を伺いながら引き続き検討してまいりたい。

▶議会での主張

市民会館は開館から、市民による創造、発表の場、市民が文化芸術に触れる機会の創出の場であり、市民の「文化の殿堂」として、市民に愛されてきた。市民会館の老朽化対策は市民サービスの充実に直結すると確信している。

山口市亀山周辺・中心市街地活性化 アクションプランについて

▶質問

このたび公表された亀山周辺中心市街地活性化アクションプランは、市民に大きな夢を与え、街の品格を高めると期待される。これを今後の市政にどう反映するのか伺う。



県立美術館周辺でのイメージ
出展「山口市亀山周辺・中心市街地活性化アクションプラン」

▶答弁

亀山周辺・中心商店街ゾーンは、行政、文化、教育、商業等の様々な都市機能が集積しており、市では県都にふさわしい都市空間の形成を進めている。このたび官民連携の協議体で取りまとめられた亀山周辺中心市街地活性化アクションプランは、本市の魅力を高める本庁舎周辺整備の取組や、パークロード周辺の教育文化施設等の連携強化といった取組と方向性を同じくするものであり、今後策定する第三次山口市総合計画への反映などを検討する。また、アクションプランで中長期的な取組として示された、老朽化した公共施設への対応や歩行者等が中心となるような道路空間の整備については、県都の顔にふさわしい都市空間の形成に向けた重要な取組であることから、関係機関との意見交換や情報共有の場を設けながら検討を進めたい。

▶議会での主張

亀山周辺・中心商店街ゾーンの発展が、山口都市核そして本市全体のまちづくりを牽引し発展につながり、さらに、まちの品格を高める本市の象徴だと、私は信念を持っている。

Achiro's Eye
気づいたこと感じたこと

山口市市民会館は築54年(昭和46年竣工)を経過し、施設の老朽化が進行しています。こうした中、山口商工会議所による「やまぐち魅力向上プラン」には、「市民会館はパークロード周辺へ移設した方が、周辺一帯を利用しやすくなるのではないか。また、市民会館跡地にはバスロータリーのような交通結節点を整備してはどうか。」との意見もあります。財源の課題もありますが、しっかりと未来構想に基づいた検討を期待しています。

政治家が自ら身を切る改革、議員定数の削減に賛成しました！

令和8(2026)年4月の山口市議会議員選挙から適用され、現行34議席から2議席減の32議席となります。

議会での発言

▼動画はこちら▼



令和7年 第4回山口市議会定例会 質問と答弁

子育て応援について

▶質問

子どもの居場所づくりとしての放課後児童クラブについて、担い手の人材確保が困難になる中、民間事業者の「サードプレイス」の取組も踏まえ、今後どのように取組まれるのか伺う。

▶答弁

放課後児童クラブにおいては安定的な運営を継続するための人材確保が喫緊の課題である。今後、地域住民等で組織する団体による運営が困難となった場合、積極的な民間事業者の参入を視野に入れ、安定的な運営と安心して過ごすことができる居場所づくりに努める。

▶質問

中心商店街における放課後児童クラブについて、民間事業者と連携した取組の効果を伺う。



VIVISTOP山口

▶答弁

中心商店街の空き店舗を活用した放課後児童クラブについては、NPO法人に運営を担っていただき、立地から地域の皆様と触れ合いながら買い物体験、ものづくり体験のイベント等に参加する等、多様な体験ができる場となっている。コガルあそびのひゃっかてんやVIVISTOP山口を利用して、こども達の健やかな成長につながっている。

▶議会での主張

こどもの居場所づくりに、多様な選択肢を持たせるうえで、民間レベルでの新たな取組を支援する仕組みづくりが必要だと考えている。

市道宮島町問田線について

▶質問

中村橋から上下水道局に抜ける「市道宮島町問田線」の整備について伺う。

▶答弁

県道山口防府線に接続する市道であることから、渋滞を回避する抜け道として利用される方も多い路線である。こうしたことから、歩行者の安全性を向上させるため、歩道の設置を含めた道路整備を進めている。現在、未整備区間の道路線形の検討を行っており、沿線の家屋等にも影響があることから整備完了までに相当な時間を要すると考えている。

▶質問

整備完了までに時間がかかることは理解できるが、現状を踏まえた安全対策について伺う。

▶答弁

今年度は、道路が狭くなる区間において、車の減速を促すための「徐行」や「スピード落せ」といった路面標示の施工を計画している。こうした対策が歩行者等の安全につながるものと考えており、引き続き、県公安委員会等の関係機関と連携しながら安全対策に取組んでまいりたい。



路面標示の整備イメージ

▶議会での主張

引き続き線形の検討等を行うとともに、今後関係者と調整を行いながら、有利な財源を模索する等、早期整備の手法を検討されることを要望する。

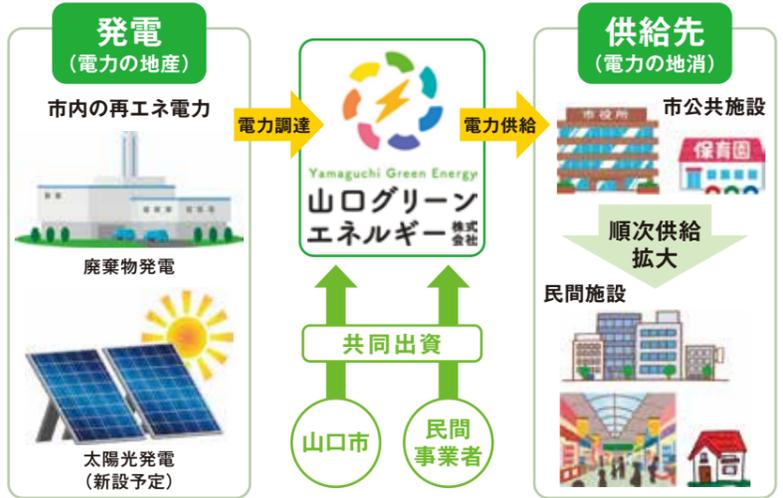
地球温暖化対策の取組について

▶質問

脱炭素先行地域の現状と今後の取組について伺う。

▶答弁

地域新電力会社「山口グリーンエネルギー(株)」を介した、公共施設36施設への清掃工場の廃棄物発電電力の供給は、今年度末までに50施設に達する見込みで、今後も拡充する。さらに大内管内及び神田の一般廃棄物最終処分場跡地に太陽光発電設備を導入し、脱炭素先行地域である中心市街地エリアの店舗や事業所等へ電力を供給される。



▶議会での主張

本市の条例改正も含めて太陽光発電設備の設置に対する規制の動きがある中で、未来の子どものためにも、地球温暖化対策にしっかり取り組むことも必要と考える。

地域政党 やまぐちの風は、市民の皆様の声を大事にすることを第一の信条として活動していることから、市議会での議論について、自身が撮影した画像等と併せて、定例会ごとにわかりやすくお伝えしていくためにつくっているのがこの会報です。是非、ご覧いただき、お気軽にご意見等をお寄せいただければ幸いです。



地域政党 やまぐちの風

検索

<http://takenakaichiro.com/>

〒753-0251 山口市大内千坊2丁目16-5



代表

山口市議会議員 竹中一郎